

平成27年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰に係る
市長への報告について

魅力あるまちづくりの推進に努め、特に著しい功績があった個人又は団体であるまちづくり功労者として、市内から御園二丁目まちづくり協議会及び小田急相模原駅北口B地区市街地再開発組合の2団体が、平成27年6月12日に国土交通大臣から表彰されました。

同団体の委員長及び元理事長から市長に受賞の報告がなされますのでお知らせします。

- 1 日 時 平成27年7月24日(金)午後2時30分～午後3時
- 2 場 所 市長応接室2
- 3 報告者
御園二丁目まちづくり協議会 委員長 熊谷圭子
小田急相模原駅北口B地区市街地再開発組合 元理事長 鈴木博雄

(参考)各団体の功績内容について

【御園二丁目まちづくり協議会の功績内容】

平成20年7月に住民発意により設立された「御園二丁目まちづくり協議会」は、既成市街地である御園2丁目の戸建て住宅主体の約10.8ヘクタールの地区について、地区内住民の安心・安全に配慮しつつ良好な住環境を維持保全し、かつ快適に暮らせるまちを将来に引き継いでいくことを目的とした「地区計画」を推進するため、調査・研究を行い、アンケートの実施や「協議会だより」の発行等によって街づくりの取組の周知啓発を行い、地区計画案を策定し、地権者に対して説明会の開催等を行い合意形成を図った。

その結果、674人の地権者のうち、賛同者596人、約88.4パーセントの同意率を得たため、市に対して地区計画の都市計画決定の手続依頼を行い、平成26年2月に都市計画決定し、同年7月の条例改正に至った。

【小田急相模原駅北口B地区市街地再開発組合の功績内容】

小田急相模原駅北口地区は、その立地から人口集積が進み、古くから駅前商業地として発展してきた地区であるが、空店舗の増加、老朽化した低層の木造建物や簡易な自動車駐車場等の低未利用地が混在していたため、駅前地区の一体的なまちづくりによる都市機能の更新が求められていた。

このため、小田急相模原駅北口地区の拠点となるA地区及びB地区の2地区において再開発事業が進められてきたが、B地区再開発組合は平成19年11月に竣工したA地区に続き、権利変換や保留床処分など多くの課題を権利者が一丸となって乗り越え、都市型住宅、商業、業務機能等を含んだ複合型再開発ビルを建設し、平成25年9月に竣工した。また同時に整備された県道横断デッキは、駅改札口からA地区を経由してB地区までを2階で繋ぎ、その先のサウザンロード相模台商店街まで安全な歩行者動線を確認し、北口地区の一体的な都市基盤整備を実現した。

これらのことは、小田急相模原駅北口地区の都市機能の向上とともに、当該地区の商業の活性化を図るうえで多大な貢献となった。

平成26年8月22日組合解散認可公告